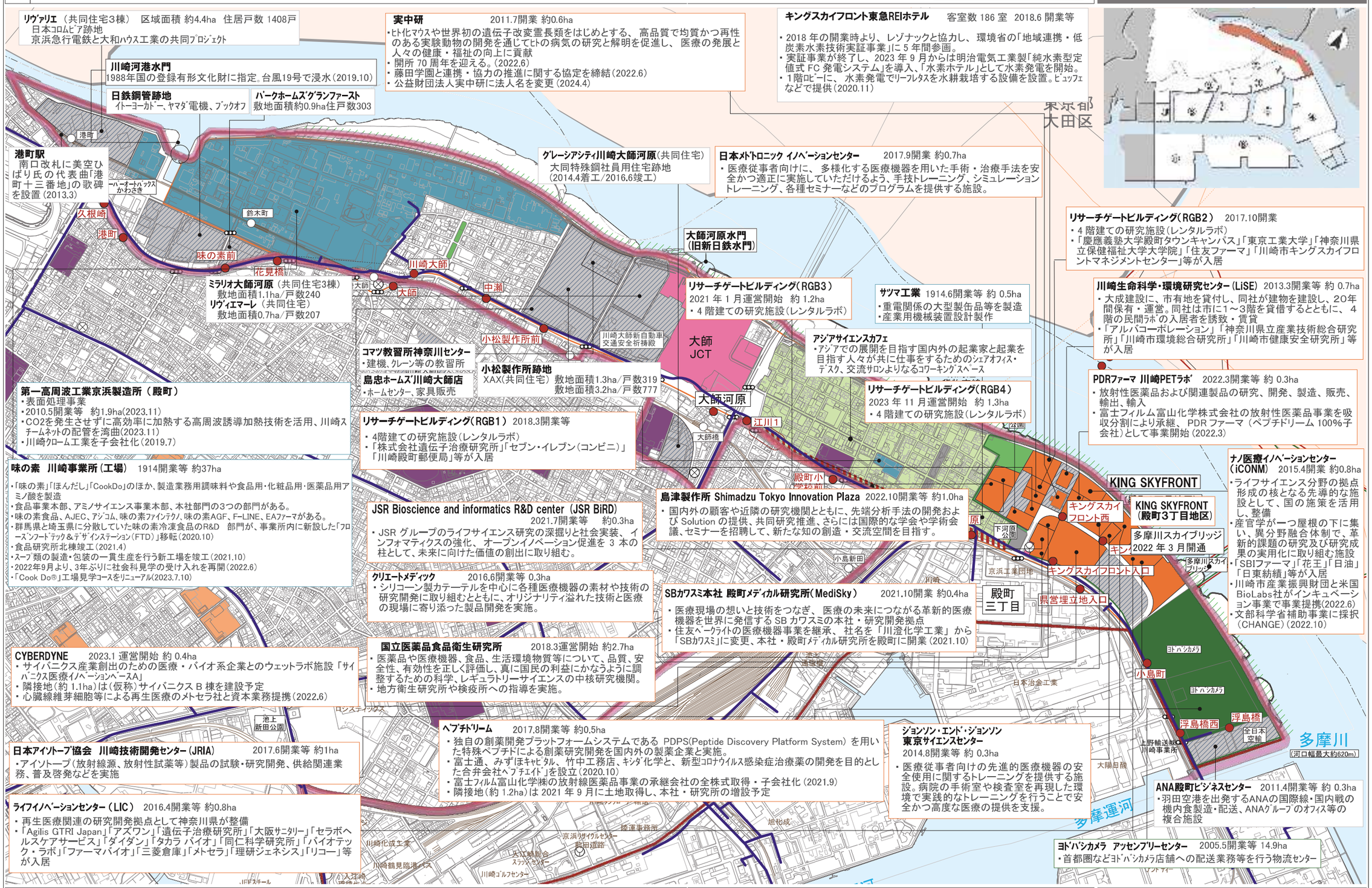
多摩川リバーサイド地区 ①

凡例
- 市域
- 対象地区範囲
- 国際戦略総合特別区域
- 都市再生緊急整備地域
- 特定都市再生緊急整備地域
- バス停
- 鉄道駅
- 工業用水道
- 警察署
- 消防署
- 製造（石油・石油化学）
- 製造（石油・石油化学以外）
- リサイクル
- 公共用地
- 物流
- エネルギー
- その他
- 公園等
- 研究開発

SCALE 1/12000　0 100 300 500 m



リヴァリエ（共同住宅3棟）　区域面積 約4.4ha　住居戸数 1408戸
日本コロムビア跡地
京浜急行電鉄と大和ハウス工業の共同プロジェクト

川崎河港水門
1988年国の登録有形文化財に指定。台風19号で浸水（2019.10）

日鉄鋼管跡地
イトーヨーカドー、ヤマダ電機、ブックオフ

パークホームズ グランファースト
敷地面積約0.9ha住戸数303

港町駅
南口改札に美空ひばり氏の代表曲「港町十三番地」の歌碑を設置（2013.3）

ハーバーオートバックス かわさき

ミラリオ大師河原（共同住宅3棟）
敷地面積1.1ha/戸数240
リヴィエマーレ（共同住宅）
敷地面積0.7ha/戸数207

コマツ教習所神奈川センター
・建機、クレーン等の教習所

島忠ホームズ川崎大師店
・ホームセンター、家具販売

小松製作所跡地
XAX(共同住宅）敷地面積1.3ha/戸数319
敷地面積3.2ha/戸数777

第一高周波工業京浜製造所（殿町）
・表面処理事業
・2010.5開業等　約1.9ha(2023.11)
・CO2を発生させずに高効率に加熱する高周波誘導加熱技術を活用、川崎スチームネットの配管を湾曲(2023.11)
・川崎クローム工業を子会社化（2019.7）

味の素　川崎事業所（工場）　1914開業等 約37ha
・「味の素」「ほんだし」「CookDo」のほか、製造業務用調味料や食品用・化粧品用・医薬品用アミノ酸を製造
・食品事業本部、アミノサイエンス事業本部、本社部門の3つの部門がある。
・味の素食品、AJEC、アジコム、味の素ファインテクノ、味の素AGF、F-LINE、EAファーマがある。
・群馬県と埼玉県に分散していた味の素冷凍食品のR&D　部門が、事業所内に新設した「フローズンフードテック&デザインステーション（FTD）」移転（2020.10）
・食品研究所北棟竣工（2021.4）
・スープ類の製造・包装の一貫生産を行う新工場を竣工（2021.10）
・2022年9月より、3年ぶりに社会科見学の受け入れを再開（2022.6）
・「Cook Do®」工場見学コースをリニューアル(2023.7.10)

日本アイソトープ協会　川崎技術開発センター（JRIA）　2017.6開業等 約1ha
・アイソトープ（放射線源、放射性試薬等）製品の試験・研究開発、供給関連業務、普及啓発などを実施

ライフイノベーションセンター（LIC）　2016.4開業等 約0.8ha
・再生医療関連の研究開発拠点として神奈川県が整備
・「Agilis GTRI Japan」「アズワン」「遺伝子治療研究所」「大阪サニタリー」「セラボヘルスケアサービス」「ダイダン」「タカラ バイオ」「同仁科学研究所」「バイオテック・ラボ」「ファーマバイオ」「三菱倉庫」「メトセラ」「理研ジェネシス」「リコー」等が入居

実中研　2011.7開業 約0.6ha
・ヒト化マウスや世界初の遺伝子改変霊長類をはじめとする、高品質で均質かつ再性のある実験動物の開発を通じてヒトの病気の研究と解明を促進し、医療の発展と人々の健康・福祉の向上に貢献
・開所 70 周年を迎える。(2022.6)
・藤田学園と連携・協力の推進に関する協定を締結(2022.6)
・公益財団法人実中研に法人名を変更（2024.4）

グレーシアシティ川崎大師河原（共同住宅）
大同特殊鋼社員用住宅跡地
(2014.4着工/2016.6竣工)

大師河原水門（旧新日鉄水門）

リサーチゲートビルディング（RGB3）
2021 年 1 月運営開始　約 1.2ha
・4 階建ての研究施設（レンタルラボ）

リサーチゲートビルディング（RGB1）　2018.3開業等
・4階建ての研究施設（レンタルラボ）
・「株式会社遺伝子治療研究所」「セブン・イレブン（コンビニ）」「川崎殿町郵便局」等が入居

JSR Bioscience and informatics R&D center（JSR BiRD）
2021.7開業等　約0.3ha
・JSR グループのライフサイエンス研究の深掘りと社会実装、インフォマティクスの強化、オープンイノベーション促進を 3 本の柱として、未来に向けた価値の創出に取り組む。

クリエートメディック　2016.6開業等 0.3ha
・シリコーン製カテーテルを中心に各種医療機器の素材や技術の研究開発に取り組むとともに、オリジナリティ溢れた技術と医療の現場に寄り添った製品開発を実施。

国立医薬品食品衛生研究所　2018.3運営開始 約2.7ha
・医薬品や医療機器、食品、生活環境物質等について、品質、安全性、有効性を正しく評価し、真に国民の利益にかなうように調整するための科学、レギュラトリーサイエンスの中核研究機関。
・地方衛生研究所や検疫所への指導を実施。

CYBERDYNE　2023.1 運営開始 約 0.4ha
・サイバニクス産業創出のための医療・バイオ系企業とのウェットラボ施設「サイバニクス医療イノベーションベースA」
・隣接地（約 1.1ha）は（仮称）サイバニクス B 棟を建設予定
・心臓線維芽細胞等による再生医療のメトセラ社と資本業務提携（2022.6）

ペプチドリーム　2017.8開業等 約0.5ha
・独自の創薬開発プラットフォームシステムである PDPS(Peptide Discovery Platform System) を用いた特殊ペプチドによる創薬研究開発を国内外の製薬企業と実施。
・富士通、みずほキャピタル、竹中工務店、キシダ化学と、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発を目的とした合弁会社ペプチエイド」を設立（2020.10）
・富士フィルム富山化学㈱の放射線医薬品事業の承継会社の全株式取得・子会社化（2021.9）
・隣接地（約 1.2ha）は 2021 年 9 月に土地取得し、本社・研究所の増設予定

島津製作所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza　2022.10開業等 約1.0ha
・国内外の顧客や近隣の研究機関とともに、先端分析手法の開発および Solution の提供、共同研究推進、さらには国際的な学会や学術会議、セミナーを招聘して、新たな知の創造・交流空間を目指す。

SBカワスミ本社 殿町メディカル研究所（MediSky）　2021.10開業 約0.4ha
・医療現場の想いと技術をつなぎ、医療の未来につながる革新的医療機器を世界に発信する SB カワスミの本社・研究開発拠点
・住友ベークライトの医療機器事業を継承、社名を「川澄化学工業」から「SBカワスミ」に変更、本社・殿町メディカル研究所を殿町に開業（2021.10）

ジョンソン・エンド・ジョンソン 東京サイエンスセンター
2014.8開業等 約 0.3ha
・医療従事者向けの先進的医療機器の安全使用に関するトレーニングを提供する施設。病院の手術室や検査室を再現した環境で実践的なトレーニングを行うことで安全かつ高度な医療の提供を支援。

ヨドバシカメラ　アッセンブリーセンター　2005.5開業等 14.9ha
・首都圏などヨドバシカメラ店舗への配送業務等を行う物流センター

キングスカイフロント東急REIホテル　客室数 186 室　2018.6 開業等
・2018 年の開業時より、レゾナックと協力し、環境省の「地域連携・低炭素水素技術実証事業」に 5 年間参画。
・実証事業が終了し、2023 年 9 月からは明治電気工業製「純水素型定値式 FC 発電システム」を導入、「水素ホテル」として水素発電を開始。
・1 階ロビーに、水素発電でリーフレタスを水耕栽培する設備を設置。ビュッフェなどで提供（2020.11）

日本メドトロニック イノベーションセンター　2017.9開業 約0.7ha
・医療従事者向けに、多様化する医療機器を用いた手術・治療手法を安全かつ適正に実施していただけるよう、手技トレーニング、シミュレーショントレーニング、各種セミナーなどのプログラムを提供する施設。

サツマ工業　1914.6開業等 約 0.5ha
・重電関係の大型製缶品等を製造
・産業用機械装置設計製作

アジアサイエンスカフェ
・アジアでの展開を目指す国内外の起業家と起業を目指す人々が共に仕事をするためのシェアオフィス・デスク、交流サロンよりなるコワーキングスペース

リサーチゲートビルディング（RGB4）
2023 年 11 月運営開始　約 1.3ha
・4 階建ての研究施設（レンタルラボ）

KING SKYFRONT

KING SKYFRONT（殿町3丁目地区）

多摩川スカイブリッジ
2022 年 3 月開通

リサーチゲートビルディング（RGB2）　2017.10開業
・4 階建ての研究施設（レンタルラボ）
・「慶應義塾大学殿町タウンキャンパス」「東京工業大学」「神奈川県立保健福祉大学大学院」「住友ファーマ」「川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター」等が入居

川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）　2013.3開業等 約 0.7ha
・大成建設に、市有地を貸付し、同社が建物を建設し、20年間保有・運営。同社は市に1～3階を貸借するとともに、4階の民間ラボの入居者を誘致・賃貸
・「アルバコーポレーション」「神奈川県立産業技術総合研究所」「川崎市環境総合研究所」「川崎市健康安全研究所」等が入居

PDRファーマ 川崎PETラボ　2022.3開業等 約 0.3ha
・放射性医薬品および関連製品の研究、開発、製造、販売、輸出、輸入
・富士フィルム富山化学株式会社の放射性医薬品事業を吸収分割により承継、PDR ファーマ（ペプチドリーム 100%子会社）として事業開始（2022.3）

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）　2015.4開業 約0.8ha
・ライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、国の施策を活用し、整備
・産官学が一つ屋根の下に集い、異分野融合体制で、革新的課題の研究及び研究成果の実用化に取り組む施設
・「SBIファーマ」「花王」「日油」「日東紡績」等が入居
・川崎市産業振興財団と米国BioLabs社がインキュベーション事業で事業提携(2022.6)
・文部科学省補助事業に採択（CHANGE）(2022.10)

ANA殿町ビジネスセンター　2011.4開業等 約 0.3ha
・羽田空港を出発するANAの国際線・国内戦の機内食製造・配送、ANAグループのオフィス等の複合施設